

ELISA-Tek 生肉種判別キット

ELISA 法による肉種判別 (定性)

未調理肉、肉製品、乳中に含まれる肉種を判別するキットで、ウシ・ブタ・家禽・ヒツジ・ウマ・七面鳥の各種別に特異タンパクを ELISA 法により検出、混入・種別判定します。

品名 仕様	ELISA-Tek 生肉種判別キット (製造:ELISA Technology Inc 社) ウシ、ブタ、家禽、ヒツジ、ウマ、七面鳥、各 96 ウェル仕様
キット内容	ミックス 3 種(牛・豚・家禽)×32 ウェル、ミックス 4 種(牛・豚・家禽・羊)×24 ウェル ※ミックスカスタムもできます。 マイクロタイタープレート(目的動物種抗体を固着):8ウェルストリップ×12 本 陽性コントロール 2 本以上、陰性コントロール(=目的外動物種の陽性コントロールを使用)、 酵素複合体液 3 本以上、希釈液濃縮溶液、基質溶液、反応停止液、洗浄液濃縮液:各1本
目的・用途	未調理肉、肉製品、乳中に含まれる肉種を判別
原理と 検出限界	ELISA 法 各肉種混入約1%。
所要時間 保存条件	操作(前処理含)1~1.5 時間 4~8℃、露光厳禁
前処理	ホモジナイズした試料 1gに 0.9%食塩水 9mLを加え 10 秒間ストマッカーなどでホモジナイズ 10 分間静置(上部がクリアとならないときはワットマン No.4 相当のろ紙でろ過したろ液、あるいは 遠心分離(10,000G、10 分間)後の上清液を試験する。) 上清を希釈液で 10 倍希釈する。
操作	①抽出試料、各標準を 100 μ L ずつそれぞれのウェルに滴下する、 ②室温(21-25℃)で 20 分間インキュベート。ウェル内の液を廃棄後、洗浄バッファーで3度洗浄。 ③各ウェルに酵素複合体液を 100 μ L ずつ滴下する ④室温で 20 分間インキュベート。ウェル内の液を廃棄後、洗浄バッファーで 5 度洗浄。 ⑤各ウェルに基質液を 100 μ L ずつ滴下する。 ⑥室温で 10 分間インキュベート。 ⑦各ウェルに反応停止液を 100 μ L ずつ滴下して振とうする。 ⑧10 分以内に目視で判定するか、吸光度(450-630nm)を測定する。
その他必要 機器 試薬	バッグミキサー(ストマッカー)、(必要に応じ)ろ過器具、遠心分離機、100 μ L 用マイクロピペット、 フォトメーター(450nm、630nm との複波長)など



本品は食品衛生・環境等に関わる自主検査用キットであり、臨床検査等診断に用いることはできません。必ず取扱説明書等をご覧頂き、使用・保管・廃棄等の方法には充分ご注意ください。なお、価格・仕様など、内容を予告無く変更する場合があります。

アズマックス株式会社 <http://www.azmax.co.jp/> E-mail:sales@azmax.co.jp

東京営業所 〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 3-2-10 Tel 03-6661-1090 Fax 03-6661-1091